

AWS総合支援サービス

# クラスメソッドメンバーズのご紹介

---

クラスメソッド株式会社  
営業統括本部 AWS営業部

梅田 圭佑

2023年7月12日

クラスメソッドはAWSを通して多くのお客様と伴走してきました。

- 国内3,000社、10,000アカウント以上の支援実績
- 30,000以上の記事を掲載した技術ブログを運営
- DevelopersIO
  - <https://dev.classmethod.jp/>





お客様の用途に合わせて、AWS活用を総合的に支援します。

加入アカウント全てが対象となる無料付帯サービスの他、課題に応じた御支援が可能です。

## AWS請求代行サービス

初期費用・月額手数料無料  
利用費割引、AWSサポートなどの  
無料付帯サービス

## プレミアムサービス

AWS請求代行サービスに加え、  
構築支援、要件定義・設計  
などのサポート

**AWS利用費割引**

**24時間365日  
AWSサポート**

**推奨セキュリティ  
設定**

**AWSアカウント管理  
各種申請代行**

**AWSクラウド保険**

**専用管理ポータル  
お役立ちコンテンツ**

- AWSのルートアカウントについて、クラスメソッドがルートユーザとして管理することに同意いただく必要があります。  
代替として、Administrator権限を有したIAMユーザーをお渡しいたします。
- マネジメントコンソールは引き続きご利用いただくことができます。
- USドルでのご請求・お支払も可能です。

## 3つのプランから選択可能です

クラスメソッドメンバーズでは

- AWS全サービス、全リージョンを対象に5%オフでご利用いただく**一律5%割引プラン**
- **EC2・CDN割引プラン**（EC2利用費は11%オフ、CloudFront通信費は最大62%オフなど）
- AWS Organizationsをご利用したい場合の**Organizationsプラン**  
のいずれかをお選び頂けます。

### 一律5%割引プラン

AWS全サービス全リージョン  
**5%OFF**

- \* 中国リージョン、GovCloudは除きます。  
AWS Marketplaceなど一部のサービスは対象外となります。  
詳細はP.22に記載がございます。
- \* 上記の割引率は外部要因により予告なく変更される場合があります。

### EC2・CDN割引プラン

主要EC2オンデマンド：**11%OFF**  
CloudFrontのアウトバウンド通信費  
**全リージョン割引(最大62%),  
GETリクエスト料金無料**

- \* 割引が適用されるインスタンス、リージョンにはそれぞれ制限があります。詳細はP.23に記載がございます。
- \* 上記の割引率は外部要因により予告なく変更される場合があります。

### 組織管理プラン

AWS全サービス全リージョン  
**3%OFF**

- \* AWS Organizationsがご利用頂けます。一部制限がございます。
- \* 中国リージョン、GovCloud,Amazon Connect, AWS Marketplaceは除きます。一部のサービスは対象外となります。 詳細はP.24に記載がございます。
- \* 上記の割引率は外部要因により予告なく変更される場合があります。

Amazon connectのインスタンス費用も割引対象になります  
※通話料に関しては割引対象外

- ※ クラスメソッドメンバーズへ加入する際、弊社にてrootアカウントをお預かりすることになります。
- ※ マネジメントコンソールはクラスメソッドメンバーズ加入後も引き続きご利用可能です。

**AWS利用費割引**

**24時間365日  
AWSサポート**

**推奨セキュリティ  
設定**

**AWSアカウント管理  
各種申請代行**

**AWSクラウド保険**

**専用管理ポータル  
お役立ちコンテンツ**

- AWSのルートアカウントについて、クラスメソッドがルートユーザとして管理することに同意いただく必要があります。  
代替として、Administrator権限を有したIAMユーザーをお渡しいたします。
- マネジメントコンソールは引き続きご利用いただくことができます。
- USドルでのご請求・お支払も可能です。

■ 24時間365日体制でAWSテクニカルサポートを提供します。

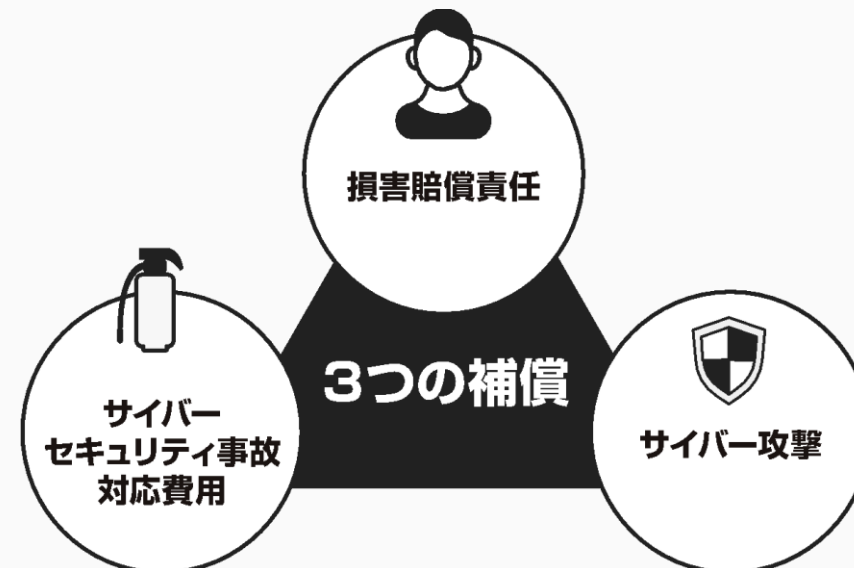
- AWSの技術的なお問い合わせ
- AWSへの各種申請時のサポート
- AWS大規模障害時の通知・情報提供
- 不正アクセス発生などインシデント検知時のサポート



クラスメソッドメンバーズ加入企業において、AWSを利用しているシステムやソフトウェアに**なりすまし攻撃、DoS攻撃、SQLインジェクション**などのサイバー攻撃が発生した場合  
対応に要した以下の費用を補償します。

- 不正アクセスなどの**原因調査**のために支出する費用
- セキュリティ事故に関して支出する**弁護士報酬**
- セキュリティ事故発生時の対策、再発防止に関する**コンサルティング費用**
- 不正アクセス等が発見された際、  
ネットワーク遮断対応を**外部委託**した場合に支出する費用

・ クラウド保険の対象は国内法人のお客様のみとなります。





**AWS利用費割引**

**24時間365日  
AWSサポート**

**推奨セキュリティ  
設定**

**AWSアカウント管理  
各種申請代行**

**AWSクラウド保険**

**専用管理ポータル  
お役立ちコンテンツ**

- AWSのルートアカウントについて、クラスメソッドがルートユーザとして管理することに同意いただく必要があります。  
代替として、Administrator権限を有したIAMユーザーをお渡しいたします。
- マネジメントコンソールは引き続きご利用いただくことができます。
- USドルでのご請求・お支払も可能です。

	ベーシック	セキュア
海外リージョンならびに高額なEC2インスタンスの起動制限	○	○
パスワードポリシーの初期設定	○	○
AWS Access Analyzer	○	○
AWS Compute Optimizer	○	○
AWS CloudTrail	○	ログファイル暗号化
AWS Config	一部のリソース	全リソースを対象
EBSデフォルト暗号化	×	○
Amazon EventBridge通知設定	×	○
Amazon GuardDuty	×	○
AWS Security Hub	×	○
Amazon Detective	×	○



## 提供機能

- サポートへのお問合せ
- AWSアカウントごとの利用状況の確認
- リザーブドインスタンスの期限切れチェック
- 複数AWSアカウントを一元管理
- 各種お役立ちコンテンツ
- 日本語／英語対応

AWSアカウント毎の利用費のグラフ表示が可能です。

日毎/サービス毎の利用費を可視化することで  
余分なコストを速やかに改善できるようにします。

AWS利用費があらかじめ設定したしきい値を超えた際、  
メール通知を行うアラート機能も用意しています。



**Classmethod Cloud Guidebook（以下、CCGと記載します。）**は  
クラスメソッドのエンジニアにより作成・管理されているAmazon Web Services（AWS）のナレッジ集です。

CCGは組織内におけるAWSガバナンスの支援を目的としています。  
複数のAWS活用時の管理方法やセキュリティ対策の検討・判断に役立つ情報をまとめています。

2023年5月現在、クラスメソッドメンバーズ利用者に向けて無償公開しています。



AWS環境の構築/運用に役立つナレッジ(ベストプラクティス)を掲載しています。

例

トピック一覧

アカウント管理

カテゴリ	トピック
AWSアカウント	<a href="#">ルートユーザーのMFA有効化</a>
AWSアカウント	<a href="#">ルートユーザーのアクセスキー無効化</a>
AWSアカウント	<a href="#">AWSアカウント分割方針の決定</a>
AWSアカウント	<a href="#">通常利用するリージョンを決定する</a>
AWS Organizations	<a href="#">Organizationsの利用</a>
AWS Organizations	<a href="#">組織単位(OU)構成の決定</a>
AWS Organizations	<a href="#">メンバーアカウントへのAWSサービス委任</a>
AWS Organizations	<a href="#">サービスコントロールポリシー(SCP)の利用</a>
AWS Control Tower	<a href="#">Control Towerの有効化</a>
AWS Control Tower	<a href="#">ランディングゾーンの更新</a>
AWS Control Tower	<a href="#">ガードレールの活用</a>

例

組織単位(Organizational Units)構成の決定

- 対応レベル: D (AWS Organizations または AWS Control Tower を利用する場合)
- 対応責任者: AWS全体管理者

組織単位(Organizational Units:OU)構成を決定します。OUは AWS Organizaions の機能で、複数のAWSアカウントを階層化するためのコンテナです。OU単位でアクセス制御やリソース展開などの統制が可能です。

運用/チューニングのTips

サービスコントロールポリシー(SCP) という AWS Organizations の主要機能があります。SCPを使うことで、OU単位のアクセス制御を実

「ジョンの制限」、「ログ・セキュリティ」

割の方針は SCPを意識しながら行います

これは SCPによるアクセス制御の強さが、

うに「求められるセキュリティ要件」単

```
graph TD; root[root] --> SecurityOU[Security OU]; root --> InfrastructureOU[Infrastructure OU]; root --> WorkloadsOU[Workloads OU]; InfrastructureOU --> DevOU1[Development OU]; InfrastructureOU --> StagingOU1[Staging OU]; InfrastructureOU --> ProdOU1[Production OU]; WorkloadsOU --> DevOU2[Development OU]; WorkloadsOU --> StagingOU2[Staging OU]; WorkloadsOU --> ProdOU2[Production OU];
```

各チェック項目ごとにどのように対応すべきか、クラスメソッドとしての見解と共に掲載しています。

## コントローラー一覧

最終更新日: 2022/10/14

タイトル	重要度	CM推奨対応
[ACM.1] ACM 証明書は、指定された期間後に更新する必要があります。	Medium	やらなくて良い
[APIGateway.1] API Gateway RESTとHTTP APIのログインを有効にする必要があります	Medium	やらなくて良い
[APIGateway.2] API Gateway REST APIステージでは、バックエンド認証にSSL 証明書を使用するように設定する必要があります	Medium	やらなくて良い
[APIGateway.3] API GatewayのREST APIステージでは、AWS X-Rayのトレースが有効になっている必要があります	Low	やらなくて良い
[APIGateway.4] API Gatewayは、AWS WAFのWeb ACLと関連付ける必要があります	Medium	やらなくて良い
[APIGateway.5] API Gateway REST APIのキャッシュデータは静止時に暗号化されるべきである	Medium	必須
[AutoScaling.1] ロードバランサーに関連付けられた Auto Scaling グループはロードバランサーのヘルスチェックを使用する必要があります	Low	やらなくて良い
[AutoScaling.2] EC2 AutoScalingグループは複数のアベイラビリティゾーンにまたがって配置される必要があります	Medium	やらなくて良い
[AutoScaling.3] Auto Scaling グループは、EC2インスタンスが Instance Metadata Service Version 2 (IMDSv2) を必要とするように設定すべき	High	やらなくて良い

例

[EC2.2] VPC のデフォルトのセキュリティグループはインバウンドトラフィックとアウトバウンドトラフィックを許可しない必要があります

例

- 重要度: High
- クラスメソッド推奨対応: 必須

### クラスメソッドコメント

デフォルトのセキュリティグループは利用者が誤って使ってしまう可能性があります。 その場合に意図しないアクセス経路を出さないためにも、デフォルトのルールは削除すべきです。

セキュリティグループを利用しているかは、以下ブログの手順で確認できます。

- 特定のセキュリティグループを使用しているリソースの確認方法 | [DevelopersIO](#)

デフォルトのセキュリティグループを利用していない場合は関係者に確認の上、ルールを削除します。

デフォルトのセキュリティグループを利用している場合、セキュリティグループをコピーし新規作成したセキュリティグループに切り替えます。セキュリティグループのコピーは以下ブログを参照してください。

- セキュリティグループをコピーして新規作成する | [DevelopersIO](#)

AWSを組織的に活用するためのガイドラインに必要な策定項目・内容のサンプルを掲載しています。

サンプル - 2

例

AWS全体管理者が管理する共用アカウントと各プロジェクトのアカウントの構成を示す。

アカウント名	管理責任者	用途
Project Account	プロジェクト管理者	個別システムの構築 アカウント分割方針に従う
Jump Account	AWS全体管理者	IAMユーザーを一元管理
Security Account（Audit Account）	AWS全体管理者	ログ保管を目的として次のログを集約 ・ AWS CloudTrail イベントログ ・ AWS Config Snapshot ・ Amazon GuardDuty ログ
Log Archive Account	AWS全体管理者	監査を目的として次のサービスを管理 ・ AWS Security Hub ・ Amazon GuardDuty ・ AWS Config Rules

サンプル

例

各リソースの命名規則は下表に従うこと。

表に存在しないサービスは可能な限り次の命名とすること。

- 命名規則：{sysname}-{env}-{サービス名}

AWSリソース	命名規則	補足説明
VPC	{sysname}-{env}-vpc	
Subnet	{sysname}-{env}-{nlayer}-subnetXX	XXは連番
Route Table	{sysname}-{env}-{nlayer}-rtb	
Internet Gateway	{sysname}-{env}-igw	
ELB	{sysname}-{env}-alb/nlb	
Target Group	{sysname}-{env}-tg	
EC2	{sysname}-{env}-{type}-XX	XXは連番
IAM Role	{sysname}-{env}-{type}-role	
Security Group	{sysname}-{env}-{type}-sg	
RDS	{sysname}-{env}-rds	
S3	{sysname}-{env}-{use}-{random}	グローバルで一意的な名称にするために乱数を付与



お客様の用途に合わせて、AWS活用を総合的に支援します。

加入アカウント全てが対象となる無料付帯サービスの他、課題に応じた御支援が可能です。

## AWS請求代行サービス

初期費用・月額手数料無料  
利用費割引、AWSサポートなどの  
無料付帯サービス

## プレミアムサービス

AWS請求代行サービスに加え、  
構築支援、要件定義・設計  
などのサポート



## ■ AWSコンサルティング

- 構成検討・構築の支援、監視・運用設計、運用コストの最適化

## ■ クラウド最適化アセスメント

- AWS利用状況をヒアリング、ベストプラクティスとのギャップを是正

## ■ AWSマイグレーション

- オンプレミス環境からのAWS移行支援（アーキテクチャ設計、移行方針策定）

## ■ AWS運用代行・監視

- AWS環境上の定常作業の代行
- 障害発生時の障害一次対応代行

## ■ AWS環境のセキュリティ対策

- 脆弱性診断
- Trend Micro Cloud One™ – Workload Securityの導入支援

## ■ 活用支援

- AWSトレーニングサービス

## ★AWS相談会開催中★

今回のウェビナーについてもっと詳しく話を聞きたい、  
トレーニングサービスについて相談したい等あれば、  
ぜひお申し込みください。

開催時間：平日10:00～18:00より応相談

会場：リモート

参加料金：無料

<https://classmethod.jp/news/aws-security-consultation/>



## COMPANY PROFILE

以下リンクからご覧ください。

[https://classmethod.jp/wp-content/themes/classmethod/download/fl\\_company\\_dl.pdf](https://classmethod.jp/wp-content/themes/classmethod/download/fl_company_dl.pdf)

**classmethod**